

「(仮称)熊本市立学校防災月間」について

健康教育課

- 1 目的 熊本地震の記憶を風化させることなく、未来の子どもたちへ伝承するとともに、災害に適切に対応する能力を培う。
- 2 期間 毎年4月
- 3 内容 (1)地震を想定した避難訓練
(2)防災・安全に関する全校集会(校長・園長講話等)
(3)防災頭巾作成への取り掛かり
- 4 対象 熊本市立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校
ただし、上記(3)については小学校のみ
- 5 手法等 各学校において、上記の3つを期間内に取り組む。実施に際しては、各学校の実情に応じて、臨機応変に対応する。

- 6 その他 (1)地震訓練の想定例
『熊本を震源とする震度6弱の地震が発生』
熊本市全域にわたり家屋全半壊多数等、学校の実態によって想定を決める
(例)校内敷地の被害あり
校内放送器具の使用は不可能
児童生徒等に負傷者あり 等
- (2)訓練項目(~ までは基本的に実施し、学校の実態で項目を差し替え可)
地震発生
「揺れたら」(初期対応...まず低く、頭を守り、動かない)
「揺れが収まったら」(二次対応...避難場所への移動)
現況報告・対応
現況の確認・児童生徒等の安否確認結果を委員会へ連絡・負傷者の対応
今後の対応協議
連絡引き渡し実施・学校安心メール・避難所開設 等
その後、A又はBを実施、若しくは学校の実態で項目を変更し実施
訓練時、委員会へ児童生徒等の安否確認結果の連絡は不要
小学1年生は、簡易的な訓練(上記「揺れたら」等)のみでも可

| A | B |
|------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| 引き渡し場所へ移動 避難所開設の準備 学校安心メール発信 保護者からの電話対応等 現況報告・今後の対応協議 (現況の確認・引き渡しの報告・避難所開設の確認等) | 安全主任の講評 校長の話 |